

平成22年度遠野市下水道事業特別会計補正予算（第1号）の要領

- 1 歳入歳出予算の総額にそれぞれ 25,750千円を追加し、歳入歳出予算の総額を 813,091千円とする。（当初予算比較では、3.3%の増）
- 2 歳入は、社会資本整備総合交付金事業が採択されたことに伴い、総合防災センターの汚水接続に対応し、国道部分の下水道整備を行うため、国庫支出金の増 8,600千円、繰入金の増 3,150千円、市債の増 14,000千円とする。
- 3 歳出は、総合防災センターの汚水接続に対応し、国道部分の下水道管路実施設計及び工事、総合食育センターに接続する下水道管路実施設計を行うため、下水道事業費の増 25,750千円とする。
- 4 地方債は、市債の増 14,000千円とすることから限度額を 90,500千円から 104,500千円とする。